



平成 26 年度 UR 技術・研究報告会を開催 「まちを、元気にする チカラ。 ～知恵と技で新たな価値を～」

UR 都市機構（独立行政法人都市再生機構）は、調査研究等の成果を幅広く一般の方々に知っていただくため、下記のとおり「平成 26 年度 UR 技術・研究報告会」を開催します。



今回は「まちを、元気にするチカラ。～知恵と技で新たな価値を～」をテーマに、機構職員による調査・研究等の成果、事業フィールドにおける取り組み状況の報告のほか、大阪会場においては、関西大学環境都市工学部建築学科教授 江川直樹氏の特別講演を行います。

なお、これらは、国土交通省の住生活月間（10月）の取り組みの一環として開催するものです。

記

1 概要 〔大阪会場〕

(1) 日時

平成 26 年 10 月 16 日（木） 10：20～17：00 （開場 10：00）

(2) 会場

テイジンホール（定員 285 名） 大阪府大阪市中央区南本町 1-6-7（帝人ビル）

(3) 内容

① 特別講演

「UR 男山団地の住民コミュニティ拠点『だんだんテラス』の目指すもの」
（講師）関西大学 環境都市工学部 建築学科 教授 江川 直樹 氏

② 調査研究、取り組み等の報告

全 7 課題（別紙のとおり）

研究報告会用テキストは、当日会場で配布いたします。

(4) 入場料・テキスト料

無料（事前の申し込みは不要です）

2 その他の会場

大阪会場のほか、東京においても開催いたします。

	東京会場
日時	平成 26 年 10 月 22 日（水） 10：20～17：00
会場	津田ホール（定員 490 名） 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-8-24
内容	①特別講演 「団地再生の新たな挑戦」 （講師） 株式会社オープン・エー代表取締役 東北芸術工科大学 准教授 「東京 R不動産」ディレクター 馬場 正尊 氏 ②調査研究、取り組み等の報告 全 7 課題（別紙のとおり）

※ 開場は 10：00 です。

詳細につきましては、UR 都市機構（技術研究所）ホームページを御覧ください。

（アドレス）<http://www.ur-net.go.jp/rd/houkokukai/>

お問い合わせは下記へお願いします。

西日本支社 総務部 総務チーム

（電話）06-6969-9006

本社 技術・コスト管理部 技術調査チーム

（電話）045-650-0672

平成26年度UR技術・研究報告会
(メインテーマ、特別講演及び報告課題)

1 メインテーマ

「まちを、元気にする チカラ。 ～知恵と技で新たな価値を～」

超高齢社会の到来、環境・エネルギー問題への意識の高まり、そして東日本大震災からの復興など、私たちのまちや住まいに対する意識も大きく変わろうとしています。

長い間地域の人々に親しまれてきた団地に知恵（ソフト）を加え、それを技（ハード）で活かすことにより、新たな価値が生まれ、生き活きと暮らし続けることのできるまちづくりを考えていきたいと思ひます。

2 特別講演

〔東京会場〕 10月22日（水） 津田ホール

「団地再生の新たな挑戦」

（講師）株式会社オープン・エー代表取締役 東北芸術工科大学 准教授

「東京R不動産」ディレクター 馬場 正尊 氏

日本の住空間の歴史をつくった団地。僕らは先人たちからその強いフォーマットを受け取りました。

それを新しい発想と技術で革新していきたい。

団地リノベーションに取り組むなかでの発見、試行錯誤、そして苦勞…。率直に話そうと思ひます。

〔大阪会場〕 10月16日（木） テイジンホール

「UR男山団地の住民コミュニティ拠点『だんだんテラス』の目指すもの」

（講師）関西大学 環境都市工学部 建築学科 教授 江川 直樹 氏

平成25年10月、UR都市機構は、UR男山団地を中心とする男山地域のまちづくりに関して、文科省の補助事業で団地再編（再生・更新）研究プロジェクトを展開する関西大学、地元自治体である八幡市との間で3者連携協定を、京都府知事立会いのもとで締結し、実質的には4者連携でさまざまな実践的展開を開始している。同年11月には、協定締結後の事業として、団地内の商業施設地に365日オープンの住民コミュニティ拠点「だんだんテラス」を開設、関西大学の学生が、団地を終の棲み家と考える団地住民や、地域、事業者、行政と連携し、運営を継続している。「だんだんテラス」の現状と、その目指すものを報告する。

3 調査・研究、取り組み等の報告

- (1) 環境に配慮した新たな草地管理の取り組み
～住宅団地におけるヤギを用いた除草とその効果に関する調査～
- (2) 既存住棟の活用にむけた躯体改修への取り組み
～あと施工アンカーと鋼管コッター併用による増設スラブ接合方法の研究～
- (3)・(4) DANCHI リノベーションの新たな取り組み〈支社等からの事例報告〉
～UR団地再生デザインコンペによる新しい生活シーンの実現～（花畑団地ほか）
～団地の魅力を引き出すデザインの力～（京都女子大学×URほか）
- (5) 超高齢社会における新たな取り組み
～UR団地における地域医療拠点の形成～
- (6) ルネッサンス計画、その後の展開
～ひばりが丘団地におけるサービス付高齢者住宅への住棟改修～
- (7) 東日本大震災からの復興に向けた取り組み
～URの震災復興支援の概要と進捗状況～